

# 令和3年 火災と救急救助の概要

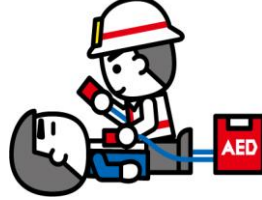
消防本部予防課予防G (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防総務課消防救急G (☎ 0595-82-9496)

火災 19 件

救急 2,102 件

救助 32 件



## ●火災の概要 【消防本部予防課予防グループ】

令和3年中の火災件数は19件で、前年に比べて9件減少しました。また、火災による死傷者は5人でした。

項目別では、建物火災が4件で前年に比べて5件減少し、4件のうち3件が住宅火災でした。主な出火原因は、たき火によるものでした。

たき火が原因となる火災は、目を離したすきに周囲の枯草等に燃え移ることで発生し、わずかな時間で延焼拡大してしまいます。ちょっとした不注意から火災が発生してしまうので十分注意しましょう。

項 目		令和2年	令和3年	前年比
火災件数	建物火災	9	4	-5
	林野火災	0	0	±0
	車両火災	5	6	+1
	その他火災	14	9	-5
	合 計	28	19	-9
死傷者	死者(人)	1	1	±0
	負傷者(人)	3	4	+1

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。(例：空地の枯草や田畑の火災など)

主な出火原因	令和2年	令和3年
	放火・放火の疑い	たき火
	排気管	たばこ
	火のついたゴミ	摩擦熱

●**救急救助の概要** 【消防本部消防総務課消防救急グループ】

■**救 急** ※各項目の令和3年の数値は、速報値となります。

・**事故種別出動件数、搬送人員（表1）**

令和3年中の出動件数は2,102件、搬送人員は1,976人で、前年と比べて出動件数は187件、搬送人員は147人増加しました。

1日の平均出動件数は5.7件で、平均搬送人員は5.4人となっています。

事故種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表1）

事故種別		年 別		
		令和2年	令和3年	前年比
火 災	出動件数	7	6	-1
	搬送人員	4	3	-1
自然災害	出動件数	0	0	±0
	搬送人員	0	0	±0
水 難	出動件数	2	1	-1
	搬送人員	2	0	-2
交通事故	出動件数	151	190	+39
	搬送人員	165	189	+24
労働災害	出動件数	30	37	+7
	搬送人員	29	36	+7
運動競技	出動件数	5	1	-4
	搬送人員	5	1	-4
一般負傷	出動件数	354	384	+30
	搬送人員	341	365	+24
加 害	出動件数	6	9	+3
	搬送人員	3	7	+4
自損行為	出動件数	23	19	-4
	搬送人員	16	14	-2
急 病	出動件数	1,259	1,377	+118
	搬送人員	1,189	1,286	+97
その他	出動件数	78	78	-37
	搬送人員	75	75	-37
合 計	出動件数	1,915	2,102	+187
	搬送人員	1,829	1,976	+147

・被搬送者の傷病程度別比率（表 2）

令和 3 年中の被搬送者 1,976 人における傷病程度の比率は、軽症が 972 人で 49.2%、中等症が 846 人で 42.8%、重症が 111 人で 5.6%、死亡・その他が 47 人で 2.4%となっています。前年と比べて軽症の占める比率が 0.3 ポイント増加しました。

（表 2）

傷病程度		年 別	令和 2 年	令和 3 年
軽 症	搬送人員		894	972
	比 率		48.9%	49.2%
中等症	搬送人員		754	846
	比 率		41.2%	42.8%
重 症	搬送人員		108	111
	比 率		5.9%	5.6%
死亡・その他	搬送人員		73	47
	比 率		4.0%	2.4%
合 計	搬送人員		1,829	1,976

※ 軽 症：入院を必要としないもの

中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの

重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表 3）

令和 3 年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が 1,131 人で 57.2%、成人が 660 人で 33.4%、少年が 76 人で 3.9%、乳幼児が 109 人で 5.5%、新生児が 0 人で 0%となっています。

（表 3）

年齢区分		年 別	令和 2 年	令和 3 年
高齢者 65 歳以上の者	搬送人員		1,146	1,131
	比 率		62.7%	57.2%
成 人 18 歳以上 65 歳未満の者	搬送人員		538	660
	比 率		29.4%	33.4%
少 年 7 歳以上 18 歳未満の者	搬送人員		58	76
	比 率		3.2%	3.9%
乳幼児 生後 28 日以上 7 歳未満の者	搬送人員		85	109
	比 率		4.6%	5.5%
新生児 生後 28 日未満の者	搬送人員		2	0
	比 率		0.1%	0%
合 計	搬送人員		1,829	1,976

## ・医療機関への市別搬送比率（表 4）

令和 3 年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が 36.8%で、市外医療機関への搬送が 63.2%となっています。

（表 4）

年 別		令和 2 年	令和 3 年
市 別			
亀山市	搬送人員	760	728
	比 率	41.6%	36.8%
鈴鹿市	搬送人員	878	992
	比 率	48.0%	50.2%
津 市	搬送人員	101	105
	比 率	5.5%	5.3%
四日市市	搬送人員	80	127
	比 率	4.4%	6.5%
その他	搬送人員	10	24
	比 率	0.5%	1.2%
合 計	搬送人員	1,829	1,976

## ・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表 5）

令和 3 年中の現場到着までの平均所要時間は、9.1 分で前年と比べて 0.2 分延伸しました。病院収容までの平均所要時間は、42.4 分で前年と比べて 1.6 分延伸しました。

（表 5）

年 別	令和 2 年	令和 3 年	前年比
所要時間			
現場到着（分）	8.9	9.1	+0.2
病院収容（分）	40.8	42.4	+1.6

## ■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の「救急医療情報システム」を利用してください。

### 《救急医療情報システム》

パソコン [URL http://www.qq.pref.mie.lg.jp/](http://www.qq.pref.mie.lg.jp/)

携帯電話 [URL http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/](http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/)

自動案内 ☎0800-100-1199（通話料無料・ファックスでも受信可能）

医療情報センター（対人案内） ☎059-229-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

（[URL http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html](http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html)）

## ■救 助

令和3年中の救助件数は32件で、前年に比べて9件増加しました。交通事故に伴う救助出動が最多となっています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

救助の概要		令和2年	令和3年	前年比
事故種別件数	交通事故	12	16	+4
	水難事故	3	0	-3
	建物等による事故	0	5	+5
	風水害等 自然災害事故	0	0	±0
	機械による事故	0	0	±0
	その他の事故	8	11	+3
	合計	23	32	+9

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。

## ■災害情報案内の利用

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものは除く）に掲載していますので、ご活用ください。

《自動音声案内》

☎82-9555

《市消防本部ホームページ》

**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>